

かい しょう 海城 中学校

医学部への高い合格実績を支える

「医学部小論文・面接講座」

今年度も国立公立大学医学部の合格者数が関東でトップクラスの数字を記録した海城中学・高等学校。年々伸び続ける医学部の合格実績を支える「医学部小論文・面接講座」について、担当の林敬先生（社会科）にお聞きしました。

中1から取材を含めた論文指導 中3では本格的な卒業論文

「医学部小論文・面接講座」以前に、海城での論文指導は、中学校で海城独自のカリキュラムとして設定している社会科の総合科目から始まります。

これは、海城が「新しい紳士の育成」を目標として21年前に始めた教育改革の一貫として、「新しい学力」を求めた問題解決型の学習のひとつです。

「夏休みの課題として論文を書かせる学校が増えていますが、他校との決定的な違いは、生徒任せにするのでは

なく、授業の中で、専任の教員がテーマ設定の仕方から、参考文献の検索、取材先の選定とアポイントメントの取り方、インタビューの仕方にいたるまでしっかりと教えていくところです」

中学1～3年まで週2時間の授業で、生徒は調査研究の仕方や論文の書き方を学んでいきます。その集大成が中学3年の2学期に提出される卒業論文です。卒業論文は4000字詰め原稿用紙で30～50枚にもおよびます。生徒の興味関心によりテーマは多岐にわたり、「脱農薬の農業実践の光と影」水俣病から学ぶ夏みかんづくり、「医師不足の解消に向けて～女性医師の職

場環境の改善から考える～」など本格的な課題が設定されています。こうした問題意識と問題解決を育む取り組みが、大学受験にとどまらず、大学に入り、社会に出てから活躍できる根太い学力につながっています。

医療の本質に触れる 医学部小論文・面接講座

「卒業論文で、医療問題に取り組む生徒が出てきました。困難な課題に取り組む医療現場を取材して、医師になりたいと真剣に考える生徒に対して、我々教員ができることはないかと考え、2004年度にスタートしたのが『医学部小論文・面接講座』です」

「医学部小論文・面接講座」は現在35名の生徒が受講しています。高2の3学期から、夏休みを含めて、高3の3学期まで続きます。週1回、土曜日の午後180分間の授業が行われ、高3の3学期は模擬面接が行われます。

「学期ごとに大きなテーマを設定します。講座を始める高2の3学期には、『医師志望論』をテーマにします。これも医師や医療と関わった原体験をきっかけにして医師をめざそうと決意するものですが、医師や医療との出会いに、何を感じ、どんな心の変化があったかという問いかけを聞か

と、明確に話せる生徒は少ないのです。そこで、なぜ医師になりたいのか、どんな医師になりたいのかという志望の原点をはっきりさせ、確固たる目的意識を持たせることから始めます。

なぜならば、他の学部とは違い、医学部は職業選択に直結する学部です。で、患者のかけがえない生命、そして死に向き合っていく覚悟が必要です。医学部の入試では、そうした真剣さや考えの深さが試されるのです」

高2の3学期に医師志望の動機を明確にした上で、この講座は3年次から本格的なものになっていきます。『医学部入試の小論文の課題や面接の質問項目を分析してみると、大きくわけて三つのテーマについて問われることがわかりました。一つめは『医師・患者関係論』、二つめが『地域医療論』、三つめが『先端医療論』です。3年生の1学期、夏休み、2学期にそれぞれをテーマに設定します」

この講座は、社会科2名、理科1名、国語科2名の計5人の先生が担当しています。毎回、授業担当者が交代する形式ではなく、1回の授業の中で理科の先生が生物学的な観点から、社会科の先生が社会的な観点から解説し、国語科の先生がコメントを加えるなど、先生方が絶妙に絡み合います。

小論文・模擬面接では 徹底した手厚い指導

4月27日に行われた授業では、『医師・患者関係論』を考えるトピックスとして、「ホスピス」が取り上げられました。がん細胞の発生・増殖、痛みなどの緩和法、ホスピスの歴史と現状など、多角的に掘り下げられました。授業では、積極的にディスカッションも行われます。そこで他の生徒や教員の意見を聞くことで、多様な見方や考え方に触れることができます。時には、研修医として医療現場に立つ卒業生も授業に参加して、現場の雰囲気と彼らの仕事ぶりを伝えてくれます。

こうして生徒たちは、いま抱えている医療現場の問題と、それに対する自分の考えをしっかりと築いていき、それを小論文にまとめていきます。

「生徒が書いた小論文は、国語科の教員が添削して返却されますが、教員によってその論旨や内容を生かして書き換えられます。そして、両方の小論文を生徒に示しながら、ディスカッションを始めます。こうして小論文の改善点を具体的に理解させます。生徒にはもう一度小論文を書き直させて、再び執筆指導を行うのです」

模擬面接は、朝の7時から、夜は6時過ぎまで行われ、3学期は教員の空き時間のすべてが模擬面接に使われると言っても過言ではありません。

「医師になった時に、わずかな診療時間の中で、患者に病状や治療方針を簡潔かつ明解に伝えて、納得してもらう必要があります。この対話技術を育む取り組みが模擬面接なのです。模擬面接は、3人の教員で本番と同様の形式で行います。その際に、入室・着席の仕方、礼の仕方、言葉遣い、所作、返答の内容をチェックします。面接が終わると、面接時の様子をビデオで撮っておいて、どこがダメだったのか、どう改善すればいいのかという振り返りを行います。こうして、一人ひとりの模擬面接に1時間以上の時間を

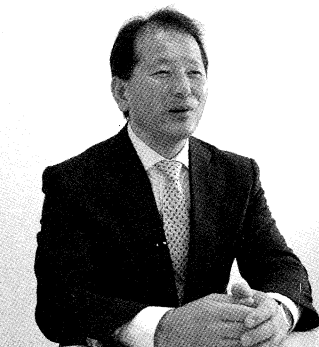
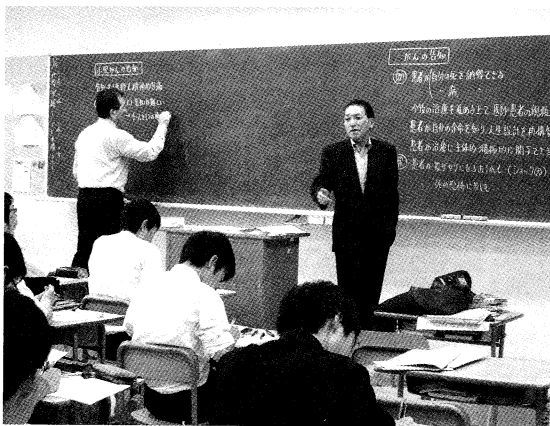
このように、生徒の意欲と、教員の対応が結びついて、大学入学時点から医師への第一歩をしっかりと刻むことのできる生徒が育てられるのです。

説明会日程

〈一般入試〉			
日程	時間	定員	予約受付開始
9月14日(土)	13:00~16:00	個別相談会 (学園祭・見学自由)	予約不要
9月15日(日)	13:00~16:00	個別相談会 (学園祭・見学自由)	予約不要
10月8日(火)	10:00~	400名	※
10月9日(水)	10:00~	400名	※
10月10日(木)	10:00~	400名	※
10月19日(土)	13:30~	400名	※
10月26日(土)	13:30~	400名	※
11月16日(土)	13:30~	400名	※

〈帰国生入試〉			
日程	時間	定員	予約受付開始
8月3日(土)	10:00~	400名	予約不要
10月12日(土)	10:00~	400名	※

※申し込み、申し込み方法、予約開始日時は決まり次第HPIに揭示



林 敬先生 (社会科)



海城 中学校

住所 東京都新宿区大久保3-6-1
TEL 03-3209-5880
URL <http://www.kaijo.ed.jp/>